

目標達成計画

作成日: 平成 24年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	業務分担が決まっている為一人ひとりに対しての、個性の尊重に対しておろそかになる時がある。	利用者のペースや希望を尊重した生活を送ってもらう為、業務の簡素化に努めたい。	スタッフ間で連携をとりながら業務分担をして利用者寄り添う場面を多くもてるように努めている。レクリエーション等は事前に準備できるものは前もって行い、準備時間を少なくするよう努めている。	3ヶ月
2	18	利用者の機能低下に伴い身体介護時間が増え、個々の思い、特技等知る機会が以前に比べて減ってきた。	介護されている側が、介護されていると感じない介護。利用者の特技や、人生観を尊重し、人生の先輩としてかかわる。	利用者とのコミュニケーションを持つ時間を出来るだけ作るようにスタッフが努めながら、利用者を人生の先輩という気持ちを持った中で、教えてもらう場面を多く持てるように、セッティングや工夫に努め、能力を発揮できるような声掛けにも心がけている。	3ヶ月
3	19	家族が利用者へ希望することと、ホームが利用者に対するサービス提供手段について隔たりが見られる。	面会の機会を増やしたい。 外出、外泊を出来る限り家族へ促す。	面会時には、利用者の生活の様子のお話をし、お部屋で家族だけの時間をとっていただくように配慮している。利用者のためにどんなことを支援していきたいかという、職員の思いも伝えながら、家族とともに支援していくように努めている。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。